

第1章 第4次推進計画の策定にあたって

1 計画策定の背景と趣旨

(1) 国及び愛知県の動向と策定の趣旨

- 平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、全ての子供が自主的に読書活動ができるよう、環境の整備を推進することが基本理念としてうたわれました。また、同法第9条第1項で都道府県が、さらに、第2項では市町村が子ども読書活動推進計画を策定するよう努めなければならないと規定されました。

なお、子どもとは「おおむね十八歳以下の者」としています。

- 国は、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（以下、「基本計画」という。）を策定しました。その後、子供の読書活動を取り巻く状況の変化等を踏まえ、平成20年3月に第二次基本計画、平成25年5月には第三次基本計画、平成30年4月に第四次基本計画を策定しました。
- 愛知県は、全ての子供が自主的に読書活動ができるよう、平成16年3月に「愛知県子ども読書活動推進計画」を、平成21年9月に「愛知県子ども読書活動推進計画（第二次）」、平成26年3月には「愛知県子ども読書活動推進計画（第三次）」さらに、平成31年2月には「愛知県子供読書活動推進計画（第四次）」を策定しました。
- 本市では、全ての子供に本の楽しさと出会いの場を提供し、子供の発達段階に応じた読書活動の推進と読書環境の整備を計画的に行うよう、平成18年6月に「安城市子ども読書活動推進計画」、平成23年3月に「第2次安城市子ども読書活動推進計画」さらに、平成28年3月には「第3次安城市子ども読書活動推進計画（以下、「第3次推進計画」という。）を策定して取組を進めてきました。

そして、国の第四次基本計画及び「愛知県子供読書活動推進計画（第四次）」に基づき、本市における子供の読書活動のこれまでの成果や課題等を検証し、実情を踏まえた「第4次安城市子供読書活動推進計画」（以下、「第4次推進計画」という。）を、ここに策定します。

(2) 計画の法的根拠

- この第4次推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、「当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」として策定します。

(3) 計画の位置づけ

- 本計画は、平成28年3月に策定した「第3次安城市子ども読書活動推進計画」の後継計画であり、安城市総合計画の個別計画として位置づけられています。また、本市の教育行政を推進するための基本方針を定めた「安城市教育大綱」に関連する基本計画です。

なお、本計画の推進にあたっては、「安城市図書館運営基本計画（令和2年3月）のほか、第4次安城市生涯学習推進計画（令和3年3月）との連携を十分に図るものとします。



(4) 計画の期間

- 令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

計画	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安城市総合計画		第8次(8年間)						後期計画	第9次	
安城市教育大綱		第1次(4年間)			第2次(4年間)				第3次	
生涯学習推進計画		第3次(5年間)				第4次(5年間)				
図書館運営基本計画 (アンフォーレ課)		図書館情報館 オープン	策定準備		(10年間)				中間見直し	
子供読書活動推進計画 (アンフォーレ課)		第3次(5年間)				第4次(5年間)				

2 第3次推進計画期間における成果と課題

本市の第3次推進計画では、子供の読書活動を具体的に推進していくために、基本理念を「読書を通じて子どもの豊かな心を育み健やかな成長を目指します」とし、次の3つの基本目標を設けて、これを達成するため、それぞれの方策を示しました。その主な成果及び課題は次のとおりです。

第3次推進計画における3つの基本目標

- 基本目標1：家庭・地域、図書館、学校等における読書活動の推進
- 基本目標2：読書環境の整備、関係機関等との連携・協力体制の整備
- 基本目標3：読書活動を支える人材の育成

(1) 主な成果（令和元年度末現在）

平成29年6月にアンフォーレ本館内に図書情報館が開館しました。2階を子供のフロア、3階には主にYA世代を対象とした「らBooks」^{※1}コーナーを配置し、資料や設備を充実させました。その結果、主な成果は下記のとおり9項目です。



① 図書情報館では、蔵書数、貸出冊数ともに目標値を上回り利用が増加

目標指標⑩	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
児童書 ^{※2} の蔵書数	218,436冊	249,464冊	238,000冊
児童書の貸出冊数	708,895冊	733,453冊	720,000冊

② 平成29年度より、学校連携の強化（システム連携・配送・学校司書等の配置）により団体貸出冊数の増加

目標指標⑮	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
小学校への団体貸出利用冊数	33,447冊	114,708冊	50,000冊
中学校への団体貸出利用冊数	497冊	20,210冊	1,000冊

③ 学校司書^{※3}・図書館教育アドバイザー^{※4}配置により学校図書館の環境の充実（目標指標⑲）

④ ICT化により、読書通帳^{※5}、電子書籍^{※6}、デジタル絵本^{※7}、からくりBooks^{※8}導入による読書環境の充実（目標指標⑨）

⑤ 新規おはなし会5事業立ち上げによるおはなし会の充実と参加人数の増加

目標指標③	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
図書館での「おはなし会」の参加人数	3,483人	4,914人	3,700人

⑥ フロアワーク^{※9}を積極的に行ったことによるレファレンスサービス^{※10}件数の増加

目標指標⑤	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
レファレンスサービスの件数	1,205件	4,944件	1,600件

⑦ 乳幼児教室、家庭教育学級、パパママ教室、赤ちゃんサロン、児童センターでの講座、まちかど講座等他課との連携による事業の実施

目標指標⑩	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
関係機関との連携による事業数	12事業	15事業	12事業

⑧ 第2回安城市新美南吉絵本大賞の実施、大賞受賞作品『かにのしょうばい』の発行及び「南吉出前授業」の実施

目標指標⑧	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
「南吉出前授業」の開催回数	7回	8回	8回

⑨ 特筆すべき成果

第3次推進計画には記載はありませんが、地域文化の創出と中心市街地活性化を目指すアンフォーレの役割を果たすため、ホールを会場とした、子供向けコンサート、演劇、講演会等を開催しました。また、健康支援室・講座室等を会場とし、工作教室、けん玉・お手玉教室、ロボットプログラミング教室、サイエンスショーなど、今まで図書館で取り組んだことのない新しい分野のイベントも実施しました。いずれも市内外からの参加者で賑わい、定例のイベントとして継続しています。



(2) 主な課題（令和元年度末現在）

しかしながら、下記のとおり課題も明らかになりました。

① 読み聞かせボランティアの会員数の減少

目標指標⑰	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
図書館に登録されている読書グループ・読み聞かせボランティアグループの会員数	330人	234人	370人

② 保育園・幼稚園への「出前おはなし会」の開催回数の減少

目標指標⑦	平成27年度	令和元年度	目標(令和2年度)
保育園・幼稚園での「出前おはなし会」の開催回数	510回	295回	550回

③ その他

第3次推進計画期間中に明らかになった課題として、発達段階においては、乳幼児から中学生までの子供たちを対象とした事業が多く、高校生向けの事業が不十分であることが挙げられます。また、不登校や長期入院等により来館できない子供たちや外国にルーツを持つ子供たちへの事業も今後考える必要があると思われれます。

(3) 目標指標（20指標）による進捗状況（令和元年度末現在）

目標達成	11指標	55%
未達成だが計画策定時より改善	4指標	20%
計画策定時より後退	5指標	25%

詳細については、参考資料P28「第3次安城市子ども読書活動推進計画【進捗状況（令和元年度末現在）】」に掲載しています。